

シャトーブリアンからの手紙 (2011)

LA MER A L'AUBE
CALM AT SEA

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 フランス/ドイツ

色彩 Color

時間 91分

初公開日 2014/10/25

公開情報 ムヴィオラ

【キャッチコピー】

あなたに見せたかった。
微笑みのある明日を。

【解説】

「ブリキの太鼓」のドイツの名匠フォルカー・シュレンドルフ監督が、ドイツ占領下のフランスを舞台に、わずか17歳のレジスタンス少年ギィ・モケの身に起こった実際の悲劇をもとに描くフランス・ドイツ合作による戦争ドラマ。1人のドイツ将校暗殺の報復として処刑されたギィをはじめシャトーブリアン郡の収容所にいた27名の政治犯の過酷な運命を軸に、ヒトラーの非道な命令に対し、独仏双方の軍人、役人たちがどのように振る舞い、その結果としてこの大虐殺がいかに粛々と遂行されていったかを丁寧な筆致で描き出していく。

1941年10月。ドイツ占領下のフランス。シャトーブリアンのショワゼル収容所には、占領に反対する多くの政治犯が収容されていた。その中には、占領を批判するピラをまいて逮捕された、まだ17歳の少年ギィ・モケもいた。そんなある日、ナントで1人のドイツ将校が何者かによって暗殺される。これを受け、パリのドイツ軍司令部には、すぐさまヒトラーからの命令が届く。それは、“報復として、収容所のフランス人150名を処刑せよ”というあまりにも過剰にして冷酷なものだった。シテュルプナーゲル将軍をはじめパリのドイツ軍司令部では、この命令に当惑し、その回避に向けた努力が続けられる。その頃、シャトーブリアン郡庁舎では、副知事ルコルヌに人質のリストづくりが命じられていた。

【クレジット】

監督	フォルカー・シュレンドルフ	Volker Schlöndorff	
製作	ブリュノ・プティ オリヴィエ・プベル	Bruno Petit Olivier Poubelle	
脚本	フォルカー・シュレンドルフ	Volker Schlöndorff	
撮影	ルボミール・バックチェフ	Lubomir Bakchev	
音楽	ブリュノ・クーレ	Bruno Coulais	
出演	レオ＝ポール・サルマン マルク・バルベ ウルリッヒ・マテス マルタン・ロワズィヨン ヴィクトワール・デュボワ ジャン＝マルク・ルロ セバスティアン・アカール リュック・フロリアン	Leo-Paul Salmain Marc Barbe Ulrich Matthes Martin Loizillon Victoire Du Bois Jean-Marc Roulot Sébastien Accart Luc Florian	ギィ・モケ ジャン＝ピエール・タンボー エルンスト・ユンガー クロード・ラレ オデット・ネリス ルシアン・トゥーヤ収容所長 ベルナール・ルコルヌ副知事 ジョルジュ・シャサーニユ

ハラルト・シュロット	Harald Schrott	ハンス・シュパイデル大佐
クリストファー・ブッフホルツ	Christopher Buchholz	クリストウカト司令官
ヤコブ・マツェンツ	Jacob Matschenz	ドイツ兵ハインリヒ・オッター
トマス・アーノルト	Thomas Arnold	駐仏ドイツ大使オッター・アベッツ
シジル・アンリ	Cyrille Henry	ギスコ
フィネガン・オールドフィールド	Finnegan Oldfield	ジルベール
トリスタン・ロバン	Tristan Robin	マルセル
ジャン＝ピエール・ダルッサン	Jean-Pierre Darroussin	モヨン神父
アリエル・ドンパール	Arielle Dombasle	カミーユ
アンドレ・ユンク	Andre Jung	シュテュルプナーゲル将軍